
開講科目名：刑事法研究（A）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：清水 裕樹

《授業の概要》

【授業の目標】

『平成30年版 犯罪白書』所載のデータを読み込むことにより、現代日本社会における犯罪の状況について理解できるようになる。

犯罪統計から読み取れること、読み取れないことについて、実際のデータから理解する。

【授業の概要】

法務省webページに掲載されている『平成30年版 犯罪白書』の中で用いられている表やグラフを素材として、各回に割り当てられた主題に沿って学生が報告を行うことをもととして授業を進める。多くの学生は犯罪統計の取り扱いに慣れていないと考えられるので、授業のはじめの部分で、犯罪統計とその取扱いに関する注意について講義を行う。

原則として、下記の授業計画に基づいて授業を行う予定であるが、受講者の関心を聴取した上で、一部『白書』の取り扱い部分に変更が生ずる可能性がある。

【授業計画】

- 第1回 受講上の注意・犯罪統計について
- 第2回 「業務統計」としての犯罪統計
- 第3回 犯罪統計と犯罪の現状との関係
- 第4回 刑法犯の動向（『白書』第1編第1章）
- 第5回 犯罪者処遇の概要（『白書』第2編第1章第2章）
- 第6回 裁判の概要（『白書』第2編第3章）
- 第7回 成人矯正の概要（『白書』第2編第4章）
- 第8回 更生保護の概要（『白書』第2編第5章）
- 第9回 少年非行の動向（『白書』第3編第1章）
- 第10回 非行少年の処遇（『白書』第3編第2章）
- 第11回 交通犯罪の動向（『白書』第4編第1章）
- 第12回 財政経済犯罪の動向（『白書』第4編第4章）
- 第13回 児童虐待やDVの動向（『白書』第4編第6章）
- 第14回 高齢者犯罪の動向（『白書』第7編第3章第1節から第3節）
- 第15回 高齢者犯罪の処遇（『白書』第7編第3章第4節から第6節）

【評価方法】

授業内での報告（レジュメ等の準備、報告内容、質疑への対応）70%

受講者としての態度（授業への参加姿勢、報告を聴く態度、報告への質疑状況など）30%

《テキスト》

『平成30年版 犯罪白書』
紙の本もあるが、データを中心として用いるので、法務省webページに掲載されているもので十分である。

《参考書》

浜井浩一（編著）『犯罪統計入門 第2版：犯罪を科学する方法』日本評論社2013年